



## 男鹿キャンパス（定員40名）

主会場：男鹿市中央公民館  
男鹿市船川港船川字海岸通り2号14-5

趣旨：男鹿の魅力を多角的に掘り起こし、自らの力で再発見につなげる学習の機会を提供する講座です。  
開講式：5/17（土）10：00～10：15

日	時	テーマ	講師	
○1	5/17 (土)	10:15～11:45	男鹿半島の戦国時代 ～安東氏と脇本城～	男鹿市教育委員会生涯学習課文化財班 学芸主事 五十嵐 祐介 氏
○2		13:00～14:30	男鹿ジオパークの魅力 ～地質からお土産まで～	男鹿の自然と文化の会 代表 夏井 興一 氏
○3	6/14 (土)	10:00～11:30	男鹿と大地の物語 ～男鹿市ジオパーク学習センター見学～	男鹿市ジオパーク学習センター職員
○4		13:00～15:30	【バス移動学習】大地の美術館 ～男鹿の奇岩怪石めぐり～	男鹿半島・大湊ジオパークガイド
○5	7/12 (土)	10:00～11:30	八郎潟の文学作品 ～金子洋文「赤い湖」、伊藤永之介「消える湖」～	美の国アクティブカレッジ・シニアコーディネーター 北条 常久
○6		13:00～14:30	水族館の仕事	男鹿水族館GAO 企画営業部展示課 海獣担当 高橋 深雪 氏 魚類担当 今西 洋平 氏

男鹿の魅力を再発見するために、歴史・自然などをキーワードに、地域について学ぶことができた講座でした。ここでは、第1回・第2回・第4回の講座の様子について報告します。

5月17日（土）は、開講式につづいて男鹿市教育委員会生涯学習課の五十嵐祐介氏と「男鹿の自然と文化の会」代表の夏井興一氏が、歴史や自然の観点から男鹿半島・大湊ジオパークの魅力についてたっぷりと講義してくださいました。

6月14日（土）に行われた移動学習「大地の美術館」では、寒風山・滝の頭などを見学し男鹿の自然の雄大さを感じることができました。

午前の講義にも参加された方は、男鹿市役所若美庁舎のジオパーク学習センターで、男鹿の環境の特色について学んでから移動学習に出発したので、一層理解が深まったのではないかと思います。学習センター解説員・ジオパークガイドの皆さんには多大なご協力をいただきました。



○2講座「男鹿・ジオパークの魅力」 夏井 興一 氏



○4講座 寒風山山頂にて